

おにぎりを食べて思っていること

島原第二小学校

三年一組

戸田一誠

ぼくは、ごはんが大好きです。とくにおにぎりが好きです。

なぜなら食べたときに、と食べることでできるし、食べたらずぐ元気がでるからです。ぼくはおなかがいっぱいずうおこり人ばうになるので、よくお母さんがおにぎりを作ってくれます。ぼくは年長からしりリングをしていて、しりリングの練習の休けい中や試合の前にもおにぎりを食べてパワーをもらっています。

いつもおにぎりを食べて思い出すことがあります。それは保育園のころに田植えをしたときです。

ぼくが通っていた保育園の中には、小さな田んぼがありました。田植えの時期になるとみんなでどらだらけたなりながら、あかきをして自分たちの手で田植えをしました。秋

の収かくの時期になると、かまを使って収か
くをしました。そのあとはせんばこきを使っ
てだ。こくもしました。友だちや先生と田ん
ぼの手入れをしたり、収かくすることはとん
も大へんだ。たことをおぼえていきます。収か
くてきたお米は少ししかなかったけど、とて
もホクホクとおいしかったことを覚えていま
す。

「ものを大切にしなさい。」とこの夏休みの
間にお父さんから何度も言われました。

ぼくはよく買ってもらうたものをそのま
にしていたりしておこられることが多かったです。

ぼくは思いました。ものだけではなくいつ
も給食や家で食べているお米の一つぶ一つぶ

も大切にしないと。いけないと。ぼくが田植え
といおかりをして感じたように、農家の人も

とても大へんな思いをしてぼくたちにお米を
届けてくれているから

これからもたくさんおにぎりを食べて大き
くて強くてやさしい人になりたいです。